

平成 18 年 3 月 31 日

各位

会社名 オムロン株式会社  
代表者名 取締役社長 作田 久男  
コード番号 6645  
上場取引所 東証、大証、名証各市場第一部  
問合せ先 経営総務室 広報部長 生越 多恵子  
TEL 075 - 344 - 7175

## パイオニア子会社の買収に関する基本合意について

本日、当社はパイオニア株式会社（以下、パイオニア）が保有するパイオニア精密株式会社（以下、パイオニア精密）の全株式を取得することでパイオニアと基本合意に達しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

これまで、当社およびパイオニア精密は、独自に小型液晶用途を中心とするバックライトの開発、生産、販売を行ってまいりました。今後も需要拡大が見込まれる液晶バックライト事業において、小型液晶から大型液晶用途までをカバーする世界トップレベルのバックライトメーカーとなるためには、当社とパイオニア精密がそれぞれ保有する優れた技術力、生産力、販売力を統合することが相互にとって最良の方策と考え、このたび当社はパイオニアからパイオニア精密を譲り受けることにいたしました。また、同社が有するゴム事業および樹脂成型事業に関しましても、今後も事業を継続していく予定です。

なお、この株式取得の条件、日程などは本日以降、具体的な協議に入り、確定は後日となります。

### 記

#### 1. 買収の目的

- (1) 小型バックライト領域において、品揃えの充実により事業を強化・拡大する  
当社は、独自の点光源方式バックライトに、パイオニア精密の多光源方式バックライトを商品ラインナップに加えることで、小型バックライト領域での商品の品揃えを充実し、事業の強化・拡大を図る。
- (2) 中型バックライト領域の事業加速により、全領域において競争力を強化する  
当社が従来手がけてきた小型および大型のバックライトに加えて、パイオニア精密の中型バックライト事業の拡大を加速し、小型から中型、大型に至るバックライト全領域における競争力を強化する。
- (3) スケールメリットにより、コスト競争力を強化する  
規模拡大による共同部材調達や生産拠点の有効活用、技術開発分野での統合効果により、コスト競争力を強化する。
- (4) マーケットシェアを拡大する  
当社とパイオニア精密の市場は重複が少なく、商品の相互供給による市場拡大を実現する。

2. 異動する会社の概要（平成 18 年 3 月 31 日現在）

- (1) 商 号 パイオニア精密株式会社
- (2) 代 表 者 取締役社長 中野芳夫
- (3) 所 在 地 埼玉県鶴ヶ島市富士見 6 丁目 1 番 1 号
- (4) 設 立 年 月 日 昭和 52 年 4 月 18 日
- (5) 主な事業の内容 小型液晶用導光板等電子機器用精密加工部品の製造・販売
- (6) 決 算 期 3月
- (7) 従 業 員 数 約 270 人（平成 18 年 1 月 31 日現在）
- (8) 資 本 金 の 額 448 百万円
- (9) 売上高（連結） 約 35,000 百万円（平成 18 年 3 月期見込み）
- (10) 発行済株式総数 884,022 株
- (11) 株主および所有割合

株 主 名	所有株式数	所 有 割 合
パイオニア株式会社	880,000 株	99.5%
パイオニア精密持株会	4,022 株	0.5%

3. 株式の取得先

- (1) 商 号 パイオニア株式会社
- (2) 代 表 者 取締役社長 須藤 民彦
- (3) 所 在 地 東京都目黒区目黒 1 丁目 4 番 1 号
- (4) 主な事業の内容 電子・電気機械器具の製造、販売
- (5) 資 本 金 の 額 49,049 百万円

4. 業績に与える影響

今回の基本合意による当社の平成 18 年 3 月期の連結および単独の業績に与える影響は軽微です。

以上